

2014年度事業報告

2014年度事業における特記すべきことは、まずベニンホフ記念館(5号館)耐震補強工事の実施である。2014年2月に耐震診断の結果として補強の必要性を指摘され急遽対策を検討、2014年度事業計画及び予算策定には間に合わなかったが、夏季休暇中の補強工事実施が最も合理的と判断し、4月以降その具体的準備を開始した。6月の定時理事会及び評議員会の承認を経て工事契約をかわし7月半ばに着工、11月25日に無事完了引き渡しを受けることができた。工事期間中は、施設の一部閉鎖や騒音等を余儀なくされたが、入寮学生及び早稲田大学留学生センターのご協力のもと、大きなトラブルなく運営することができた。また、セミナーハウス利用者にも多々ご不便をおかけしたが、会議室の変更等ご理解をいただくことができた。皆さまのご協力を改めて感謝申し上げたい。

個々の事業実施状況は報告に記載のとおりであるが、活動事業では、過去3年継続された韓国ハンバット大学の日本研修が韓国内の助成が打ち切れ開催できなかった。また、アジア語学講座は受講者の減少傾向が止まらず、不成立のクラスも少なくなかった。このような状況に鑑み、活動の強化のため2015年度に向け体制の再構築をはかった。セミナーハウス事業では、工事のため5号館が使用できない期間、キリスト教会館6階の代替使用やホールの活用にて補い通常の営業活動を継続することができた。ギャラリーの多目的使用が進み、撮影利用の増加と相まって、セミナーハウス事業全体収入では当初予算超を達成することができた。

財務では、堅調なセミナーハウス事業の貢献もあり、経常収支は予算比200万円増となる4,000万円を超え、前年度比でも増収との結果を得ることができた。10月に公益法人移行後初めてとなる行政庁の立入検査が実施されたが、事業内容、財務、法人事務とも健全な運営がなされているとの評価をいただいた。

2015年度に向けて、活動事業の一層の充実をはかるため、セミナーハウスの中にあった講座部門と学生生活部門を一般化した「活動事業部」を立ち上げ、「学寮事業部」及び「セミナーハウス事業部」と合わせて3つの事業部を明確にしつつ、共に協力発展する体制を構築し、2015年度より本格的な稼働をしている。また、組織変更に伴い新しい奉仕園を対外的に発信するため、ホームページを全面的にリニューアルし2015年4月より運用を開始している。

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

■Feel Japan 年中行事を楽しむ会

日本の文化紹介プログラムを実施。留学生と日本の学生が知り合う一助になることも目的としているが、寮生活をしながら日本の伝統行事を知る機会を提供する。2014年度後期より友愛学会の舎生が中心となり企画、運営を開始した。

6月22日	歌舞伎鑑賞@国立劇場	留学生・友愛学会生 24名
7月初旬	セミナーハウスに七夕の笹を飾り付け、来園者に短冊を書いていただく	
11月15日	芋掘り@越生町	留学生・友愛学会OG 10名
11月30日	紅葉狩り@北鎌倉	留学生・友愛学会生 計17名
1月25日	早稲田教会の子どもたちとお餅つき	留学生・友愛学会生 計30名
2月5日	豆まき	留学生・友愛学会生 計10名
3月	雛段を飾り付け、展示	

■国際理解講座 Global Understanding

月2回「平和」をテーマに様々な角度から国際理解を深めるための知識をディスカッション形式で学び、コーディネーターとして早大YMCAの石戸充氏が指導。昨年度同様、事前学習全4回を行った上で4月30日から5月3日までフィールドワークを実施。米軍基地、沖縄戦の遺跡、米軍基地反対運動の現場等を巡り、沖縄の現状について理解を深めた。友愛2名、留学生8名、スタッフ3名の計13名が参加した。

日程：

	4月30日(水)	5月1日(木)	5月2日(金)	5月3日(土)
午前		南部戦跡見学 ガマ、魂魄の塔、	東村高江 着	反戦平和資料館見学
	成田空港 発	県立平和祈念資料館平和の礎、	ヘリパッド建設地での学習	城山に登る
	那覇空港 着	ひめゆり平和祈念資料館		
				フェリー搭乗
	昼食 タコライス	昼食 沖縄そば@真壁ちなー	昼食 カフェやまがめ	昼食 沖縄そば@大家(うふやー)
午後	嘉数高台でランチ・普天間基地展望	名護市辺野古 着	古宇利島で海水浴	嘉手納飛行場展望
		新基地建設計画地での学習	フェリー搭乗	
	沖縄国際大学ヘリ墜落事件学習	座り込みテント訪問	伊江島めぐり ガマ、団結道場	
				国際通り着・自由行動
	佐喜真美術館見学			
夕				那覇空港 発
	沖縄キリスト教学院大学サークル「TEAM琉球」の学生と交流会	夕食 BBQ	夕食 伊江島にて	成田空港 着・解散
	ぎのわんセミナーハウス 泊	民宿「てるや」 泊	カーサビエント 泊	

■いのり☆フェスティバル<主催：いのりフェスティバル実行委員会、協賛：早稲田奉仕園>

9月23日に実施、キリスト教につながるあらゆる人々が教派や企業、学校の枠を超えて一堂に介するフリーマーケット型イベントをスコットホール及び中庭を会場に開催。出展ブースは約30のほかミニライブや対談等もあり、来場者は300人以上であった。

(2)国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

日本に暮らす外国人に日本語を教え、生活上のサポートをおこなうとともに地域との交流をはかる日本語ボランティアの会は16年目を迎えた。毎年『日本語ボランティア養成講座』の修了生がボランティアの会の活動に多く加わっている。特別活動として課外授業、新年会、学習者発表会、講師研修会など随時行った。また、会報誌「こんにちは日本語」も年2回のペースで発行している。

2014年度登録ボランティア数：66名

参加のべ人数：ボランティア2,310名、学習者3,889名

■東日本大震災被災者支援・復興支援活動

①富士登山プロジェクト

7月20日から22日まで、福島県から首都圏に避難している母親たちが設立したNPO「コロとカラダを育てるハッピープロジェクト」の子どもと保護者計6名、奉仕園留学生2名と共に富士登山を楽しんでいただいた。

②塩釜・浪板の夏休みプロジェクト

恵泉女学園大学との共催により、震災発生直後に支援活動を展開してきた宮城県塩釜市と岩手県上閉伊郡大槌町を訪問した。震災から3年を迎えて、塩釜市と大槌町は目に見える形で復興が進んできた。当時の被災状況を知るため、今回は資料館訪問などの学習プログラムも含めた。

期間：8月5日から8日までの3泊4日

参加：早稲田学生寮チーム(友愛学舎、早稲田大学留学生)5名

恵泉女学園大学学生15名、スタッフ5名 合計25名

協力：恵泉女学園大学キリスト教センター、浪板交流促進センター

日程：

	8月5日(火)	8月6日(水)	8月7日(木)	8月8日(金)
午前	新宿発	石巻見学	仮設住宅等訪問活動	浪板発
		気仙沼リアスアーク美術館見学		
午後	塩釜伊保石仮設住宅訪問交流	陸前高田気仙中学校訪問	仮設住宅等訪問活動	
			交流促進センター館長さんにお話を伺う	
夕	日本バプテスト同盟塩釜キリスト教会着	浪板交流促進センター着	交流促進センターにて子どもお泊まり会	新宿着

③第4回シクラメンプロジェクト

岩手県上閉伊郡大槌町を訪問した。シクラメン 300 鉢を地域住宅および仮設住宅に届け、被災者の方々との交流を楽しんだ。今回は早稲田大学 YMCA、恵泉女学園大学、早稲田奉仕園が共催し、早稲田大学公認サークル「怪獣同盟」の協力を得た。

期間：11月21日～11月23日の2泊3日

参加：早稲田学生寮チーム(友愛学舎、早稲田大学留学生)5名

恵泉女学園大学学生7名、早稲田大学怪獣同盟18名、スタッフ6名 合計36名

協力：浪板交流促進センター

日程：

	11月21日(金)	11月22日(土)	11月23日(日)
午前		気仙沼着 視察	浪板出発
		大槌町浪板着	新生釜石教会にて日曜礼拝
午後		シクラメン配布	釜石発
		怪獣同盟ヒーローショーⅠ	
夕	早稲田奉仕園 出発	子どもたちとお泊まり会	
		怪獣同盟ヒーローショーⅡ	新宿駅解散

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■アジア語学講座

アジア諸地域の言語を学ぶことを通じ、文化や習慣、社会への理解を深めることを目的に、各言語講座及び特別講座を実施した。

①通常クラス

前期：受講者数合計 82 名

クラス	入門	初級	中級	上級	合計
韓国語			中級 4	上級会話 5	9
ベトナム語			中級 4		4
ベンガル語	入門 9	初級 2 6	中級 1 6 中級 2 4 中級会話 5	上級 6	36
ヒンディー語	入門 8	初級 2 4	中級 7		19
モンゴル語			基礎復習 3		3
ミャンマー語	入門 5	初級 2 6			11

後期：受講者数合計 57 名

クラス	入門	初級	中級	上級	合計
韓国語			中級 4	上級会話 3	3
ベトナム語			中級 5		5
ベンガル語	入門 5	初級 1 6 初級 3 5	中級 1 4 中級 2 4 中級会話 3	上級 3	30
ヒンディー語		初級 1 4 初級 3 4			8
ミャンマー語	入門 5	初級 3 6			11

②夏のワンデーレッスン

7月の祝日を利用し、初心者向けのワンデーレッスンを開催、3カ国語講座に20名が参加。

開講日：2014年7月21日

受講者数：ミャンマー語4名、ベトナム語6名、ヒンディー語10名

③日→韓訳出にもチャレンジ！はじめての韓国語通訳2日間レッスン

韓国語ネイティブのプロ通訳者による韓国語への訳出に重きをおいた集中講座(5時間×2日間)を開講。

開講日：2014年7月20日、21日

受講者数：9名、講師：ペ スンジュ

④実践力をつけよう！はじめての韓国語通訳2日間レッスン

プロ通訳者による通訳メソッドを用いた上級者対象の集中講座を開講(5時間×2日間)。

開講日：2015年3月14日、15日

受講者数：7名

講師：矢野 百合子

⑤ “ほっ” とあたたまる魔法のスパイス！スルタナ先生のベンガル料理教室

早稲田奉仕園ベンガル語講座講師でもあるスルタナ先生を講師に迎えた料理教室を開催。

開催日：2015年1月31日

参加者数：18名

■英語講座

ネイティブ講師と英語でコミュニケーションをとることを中心に、楽しみながら英語を身につける「ムリなく学べる基礎英語」、時事的トピックスを英語で話し合い理解を深めると共に英語のブラッシュアップをする「What 's Happening in the World?」クラスを開講。「ムリなく学べる基礎英語」では、最後のクラスでティーブレイクの時間を設け、クラス内の交流を図った。

開講クラスおよび受講者数：

クラス	前期	後期
ムリなく学べる基礎英語(火)	4	5
ムリなく学べる基礎英語(金)	10	10
Lecture&Discussion	8	5
合計	22	20

■日本語ボランティア養成講座

地域に住む外国人などにボランティアで日本語を教えるための学習法を学ぶ。受講対象はおもに中高年の、比較的時間に余裕があり社会貢献をしたいと思っている方々を想定している。奉仕園の『日本語ボランティア養成講座』は1年間通して学べる講座として、4月に初級Ⅰ(全16回・1回2時間)、10月に初級Ⅱ(全10回・1回2時間)、中上級(全6回・1回2.5時間)を開講した。各講座修了生には修了証書を発行、修了生の多くが日本語ボランティアの活動を始めている。

講師：数土容子(武蔵大学講師)

開講日と受講者数：

クラス	開講日	受講人数
初級Ⅰ	4月16日～9月3日 全16回	25
初級Ⅱ	10月8日～12月10日 全10回	18
中上級	2015年1月28日～3月11日 全6回	16

■「スコットホールでゴスペルを歌おう」講座

スコットホールの空き時間を利用してゴスペル講座を開講している。奉仕園に集い、仲間が
でき、歌う楽しさを味わうことで元気になっていくことを目指している。発表会もあり、そ
の目標に向かって講師オリジナルアレンジの曲を習得していった。スコットホールで気持ち
良く、思い切り声を出して練習し、又、発表できるのが喜ばれている。Open Voice Day(無料
体験レッスン)を4月17日に開催、30名の参加があった。

開講日と受講者数：

クラス	開講日	受講人数
シーズン①	4月24日から6月19日(全7回)	15名
シーズン②	7月10日から9月18日(全7回)	15名
シーズン③	10月2日から12月11日(全7回)	13名
シーズン④	2015年1月15日から3月12日(全7回)	13名

発表：クリスマス発表会 12月18日

日本語ボランティアの会新年会 1月28日

講師：藤田聖子(プロシンガー)

■水彩画レッスン

静物画や野外スケッチ、作品講評を中心に、初心者向けに実技を丁寧に指導する。年度末に
受講生の作品をスコットホールギャラリーにて展示。

9月13日にはワンデーレッスンを開催し、受講生以外の参加者も加わった。

受講人数：前期9名、後期6名、9月13日ワンデーレッスン7名

講師：森本太郎(美術作家)、渡邊義孝(尾道市立大学非常勤講師)、河原美由紀(画家)

■北田英治の写真講座

今年度より半期ずつ開講。講評と実技を中心に写真を撮ることと写真を創ることを学ぶ。年
度末の写真展をスコットホールギャラリーで開催。

受講人数：前期12名、後期3名

講師：北田英治(写真家)

■聖書講座<日本クリスチャンアカデミー関東活動センターとの共催、会場奉仕園>

①上級編「イエスの世界の女性たち」

期日：4月から2月まで全10回

講師：山口里子(日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

受講人数：各回平均20名

②入門編「まちがったっていいじゃないか!の福音書」

期日：1月から5月まで全5回

講師：柳下明子(日本キリスト教団武蔵野緑教会牧師、日本聖書神学校教授)

受講人数：各回平均9名

(4) 学寮運営事業 (友愛学舎・ゲストハウス)

■友愛学舎

舎生数：2014年度は4年生3名(男子2名・女子1名)、3年生3名(男子3名)、2年生4名(男子1名・女子3名)の在寮生に加え、新1年生は女子2名が4月に入寮をした。

活動：朝の会 学期期間中の月曜日から金曜日の7時から7時30分まで。聖書研究(使徒言行録)及び学生発表等を行った。月1回(原則第一金曜日)に礼拝をおこなった。

舎生会：原則毎月1回開催。

年間活動：入舎式(2014年3月31日)、卒舎式(2015年3月20日)のほか、Feel Japan 年中行事を楽しむ会の企画運営を開始した。また海外研修やボランティアの機会を提供し参加できるような環境を整え、沖縄フィールドワークや日本バプテスト主催のプログラムにも積極的な参加が見られた。従来、新入生対象のオリエンテーションを実施してきたが、在寮生も含めて奉仕園・友愛学舎の歴史など学ぶ機会としてこれを充実させ、2015年度新舎生を迎えた本年3月28日から29日までYMCA東山荘にて1泊オリエンテーションキャンプを実施した。

協力スタッフ：早稲田教会伝道師の福山裕紀子先生にカウンセラーとして学生の相談・助言を担っていただいた。また、朝の会の聖書研究は早稲田教会古賀博牧師、福山伝道師、東京平和教会大矢直人牧師に指導をいただいた。

■キリスト教学生寮懇談会

キリスト教学生寮懇談会は、友愛学舎、早大YMCA信愛学舎、山手学舎、東京ティラナスホール、登戸学寮、春風学寮、東大YMCA寮、一橋YMCA寮の9学寮が加盟、5月13日(於東京ティラナスホール)、11月11日(於奉仕園)にて定例会を開催し、寮運営に関する情報交換をおこなった。

■ゲストハウス

大学学部生・大学院生・研究者のための寮7室。4月からは1名が入寮し満室で運営した。年2回の寮生同士の懇親会を行い奉仕園のプログラムなどへの積極的な参加を呼び掛けた。

(5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業（国際友愛学舎）

■国際友愛学舎

第2 国際学舎(奉仕園会館 3、4 階)及び第3 国際学舎(5 号館 2、3、4 階)は、昨年度末に早大との更新時期を迎え、各々2015 年 4 月より 2017 年 3 月末までの 2 年間の契約をした。留学生は 4 月以降延べ 200 名が在寮、9 月には 120 名が入寮した。

入寮オリエンテーション：9 月 10 日、9 月 12 日に実施。

レジデントアシスタント(RA)がRAルームに平日の 19 時から 21 時まで常駐。

寮生：国・地域別居住者数(合計 200 名、35 の国と地域)

中国	37	アメリカ	38	韓国	10
台湾	19	フランス	9	ドイツ	9
イギリス	10	ノルウェー	4	スウェーデン	1
オーストラリア	9	カナダ	2	イタリア	2
日本	3	タイ	2	メキシコ	1
スイス	1	スペイン	6	ニュージーランド	1
インド	3	香港	6	ロシア	2
ラトビア	1	デンマーク	2	オランダ	4
スロバキア	1	パキスタン	1	ウズベキスタン	1
シンガポール	5	インドネシア	2	アイルランド	1
マレーシア	2	フィリピン	1	ルーマニア	2
カザフスタン	1	ブルガリア	1		

短期プログラム：ミズーリ大学 8 名 7 月 18 日から 8 月 18 日まで

■留学生健康相談室の運営

医師、保健師による健康カウンセリングをおこなう。

開室時間：毎週月曜日 13 時から 15 時 30 分まで

毎週水曜日及び木曜日 13 時 30 分から 17 時 30 分まで

相談内容：病院の紹介、栄養指導、ケガの応急処置、風邪の初期対応、感染症(インフルエンザ等)についての情報提供、健康状態の把握など。

■Friday・Night

寮生間の交流と親睦を深めるイベント。入寮に合わせて年 2 回実施。

4 月 18 日 Welcome Party RA(レジデント・アシスタント)による企画、ゲーム等を楽しむ、参加人数 57 名。

9 月 26 日 Japanese Night 友愛舎生による企画、餅つき、綿あめ等を楽しむ、参加人数 80 名

■奉仕園クリスマス会

奉仕園学生寮の寮生を中心に、他の早大交換留学生寮の学生の参加も見られた。12月13日に開催。交流パーティー、グループや個人によるアトラクションなど普段では見られない学生の一面を見ることができ良い交わりとなった。

■第11回早稲田大学留學生長野県大岡研修旅行

長野市大岡を訪問し、小学校訪問、中学校での交流会、農作業体験、ホームステイなどを通じて日本の農村生活を体験した。

期間：5月24日から26日まで2泊3日

参加者数：20名、スタッフ2名、RA2名 合計24名

協力：早稲田大学留学センター、財団法人育てる会大岡ひじり学園、長野市教育委員会

■第5回富士山登頂旅行

東日本大震災支援活動と合同で実施。(東日本大震災被災者支援・復興支援活動参照)

■第9回早稲田大学留學生・冬の富士山を楽しむ研修旅行

静岡県御殿場市を訪問し、富士山周辺散策を通じ日本の自然に触れ、環境への理解を深める。

期間：2015年2月8日から10日まで2泊3日

参加者数：留學生・研究者13名、RA1名、スタッフ2名 合計16名

協力：早稲田大学ICC、YMCA東山荘

内容：富士山麓の散策、富士山周辺の自然学習、郷土料理実習、箱根観光等

■ホームビジット

ホームビジットプログラムは、早稲田奉仕園寮に居住している留學生に東京近郊の一般的な日本人家庭を訪問し、その生活を知ってもらうことにより、学業のみならず「普段着」の日本を知ってもらう機会としている。また、ホストファミリーの方々には留學生との交流を通して異文化・異世代体験をする良い機会となっている。ホストファミリーは、奉仕園OBORG、早稲田教会、東京平和教会、奉仕園日本語ボランティアの会などの方々にご協力をお願いし、現在13組のファミリーに登録をいただいている。2006年プログラム開始時より、今までに留學生のべ261名、119ホストファミリーの参加となっている。

①2014年6月2日(月)～7月6日(日)留學生16名が7家庭を訪問

②2014年10月14日(火)～12月7日(日)留學生30名が8家庭を訪問

■日本留学生宿舎財団法人協議会（留団協）

奉仕園同様に民間で留学生寮を運営している団体による協議会（現在下記 13 団体が加盟）。2 ヶ月毎に会合をもち、文部科学省や大学等の留学生政策及び宿舎が抱える問題点等の情報交換・連絡を行っている。

加盟団体

アイデント、公財)アジア学生文化協会、公財)岡本国際奨学交流財団、かながわ国際交流財団、新星学寮、公財)高山国際教育財団、公財)東亜留學生育英会、公財)東南アジア文化友好協会、公財)日中友好会館、財)力行会、公財)横浜市国際交流協会、公財)和敬塾、公財)早稲田奉仕園

■5号館ベニンホフ記念館（第3国際友愛学舎）耐震補強工事

2013年にベニンホフ記念館(1970年竣工)の耐震精密診断を実施、2014年2月に大規模補強が必要との報告を受けた。対応策を検討した結果、①6カ所にV字型ブレースを、4階及び屋上部には菱形のブレースを取り付ける、②従来窓であった部分を鉄筋コンクリートで塞いで壁に変更、③短柱部分にスリットを入れ、揺れによる柱への負荷を軽減する工事を実施した。合わせて、重油ボイラー用煙突の撤去、防火扉も更新も行った。

耐震補強設計：(株)エス・デー・ジー

意匠設計・監理：(株)一粒社ヴォーリス建築事務所

施工：(株)佐藤秀

工事日程：2013年7月 耐震精密診断を実施（～2014年1月）

2014年2月 診断結果報告を受ける、補強工事の検討を始める

6月 工事契約をかわす

7月 足場を設置する、8月初から本格的な工事が始まる

11月 工事完了検査を受ける(18日)、引き渡しを受ける(25日)

工事費用：総工費 132,684,000 円のうち、1億2,000万円は10月10日付けにて三菱東京UFJ銀行神楽坂支店より借り入れた。根抵当権極度額を6,000万円追加設定した。

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■賃貸事業

月極駐車場及び事務所の賃貸、宣教師館・牧師館、教会への施設貸出し。7月よりNPO「ココロとカラダを育てるハッピープロジェクト」事務所として1室を賃貸開始した。

■施設管理の受託

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応をおこなう。

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業（セミナーハウス）

■施設の貸与（会議室・ホール・ギャラリー）

引き続き撮影が好調で今年度も予算を大幅に超えた。昨年同様卒業式着付け企業の2社が使用した。ギャラリーは展示使用のほかにもオープンスペースとしても貸し出しをしている。1993年10月に講堂にベヒシュタインピアノを設置して以来、初めてのリニューアルメンテナンスを4月8日から7月8日に行い、リニューアル記念コンサートを7月26日に開催した。7月より10月まで行われた5号館セミナーハウスの耐震補強工事のため、会議室の利用者に移動を依頼しながら営業した。

■早稲田スコットホールギャラリー

①企画展

- ・8月15日～20日「コーヒーブレイク “アトリエ Ko. 青沼光一スケッチ水彩画展”
第2回スケッチ公募展で奨励賞を受賞した青沼光一氏の副賞としての展覧会
- ・10月24日～11月4日「 W.M. ヴォーリス没後50年記念—ヴォーリス建築写真展」
共催：(株)一粒社ヴォーリス建築事務所 展示作品40点 来場者350名
- ・11月29日～12月7日「 第3回東京の近代建築スケッチ公募展」

②第3回東京の近代建築スケッチ公募展

出品数40点 来場者200名、各賞を決定した。

■プログラム（協賛を含む）の開催

①チャリティー古本市

第14回：5月15日～6月30日 売上金51,885円、寄付先：NPO法人ココロとカラダを

育てるハッピープロジェクト

第15回：10月15日～11月30日 売上金 58,937円、寄付先：日本赤十字社

②「歴史的建造物でたのしむ ベヒシュタインピアノの魅力～おはなしとコンサート」

共催：マツシタ楽器サービス、協賛：ユーロピアノ株式会社、

出演：重松華子(ピアノ)、ヴァイオリン(小野瀬はるか)、栗田裕子(歌)

来場者：120名

③東京都教育委員会主催「東京文化財ウィーク」に参加し、11月4日に歴史的建造物スコットホール公開事業を開催した。ガイドツアーには約50名参加、計70名がスコットホールを見学した。

④セミナーハウスを利用する団体のうち趣旨に賛同する活動に対し、チケットの購入や使用料の一部を援助する協賛活動を行った。

■ 5号館ベニンホフ記念館耐震補強工事

(第3国際友愛学舎耐震補強工事を参照)

3. 法人事務

■ 財団広報

『奉仕園通信』は69号(9月30日)、70号(3月31日)を発行した。財団ホームページは定期的な更新作業のほか、全面リニューアルを実施し2015年度より運用が始まった。「早稲田奉仕園スタッフのブログ」は2014年度を通じて66記事を掲載した。

■財団会議

①理事会

第1回定時理事会(6月2日)

第2回定時理事会(3月2日)

②評議員会

定時評議員会(6月19日)

③常任理事会

第1回常任理事会(4月25日)

第2回常任理事会(5月16日)

第3回常任理事会(9月26日)

第4回常任理事会(2月17日)

④評議員・理事・監事懇談会

第1回評議員・理事・監事懇談会(5月8日)

第2回評議員・理事・監事懇談会(1月25日)

■監査

監事監査 4月10日、5月16日、11月19日

監査法人監査 4月2日、5月16日及び19日、11月19日

■登記

10月10日付 根抵当権(株式会社三菱東京UFJ、6,000万円)追加設定

■行政庁(内閣府)諸届

5月12日付 評議員辞任・就任に関する変更届け提出

6月17日付 「国と特に密接な関係がある」公益法人への該当性について提出

6月27日付 2013年度事業報告等の提出

7月16日付 2013年度事業報告等の補正・修正提出

3月7日付 2013年度事業報告等の追加資料提出

3月26日付 2015年度事業計画書等の提出

■内閣府立入検査

2014年10月6日に公益財団法人移行後初めての内閣府による立入検査が実施された。事業内容、法人運営、財務とも特段の指導、改善は指摘されなかった。

■早稲田奉仕園賛助会員

2014年度は個人129名、法人1団体に加入いただいた。

■キリスト教施設長会

施設長会議：2015年1月28日から30日まで日本YMCA同盟東山荘にて開催、吉田博専務理事が出席

職員研修会：2015年1月21日から23日までキープ財団清泉寮にて開催、神馬修職員が参加

■国際協力NGOセンター(JANIC)公益法人に関する連絡会

定例会：4月24日(於ジョイセフ)、7月22日(於プラン・ジャパン)、
10月9日(於ジョイセフ)、1月27日(於奉仕園)

■インターンの採用

東日本大震災被災者支援活動担当として1名の学生を通年で採用した。